

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:原子炉圧力容器他)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/31	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.23	表3-5について、Sy(RT)の記載要否を説明すること。	2022/4/18	Sy(RT)の欄はフォーマットとして記載していますが、原子炉圧力容器の許容応力の算出には使用しないため「-」としています。	-	
2	2022/1/31	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.21	表3-3について、疲労評価不要の適用についての考え方及び支圧の扱いを説明すること。	2022/4/18	表3-3に疲労解析不要となる条件について記載しました。先行プラントでは原子炉圧力容器の耐震評価において支圧応力を考慮していますが、島根2号機では原子炉圧力容器内部構造物の構造の違いにより、支圧応力を負担する部位が無いため、評価対象としていません。	NS2-添2-003-10改01「VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針」P.22	
3	2022/1/31	NS2-添2-003-14	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-3)	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.7	先行プラントの評価を踏まえ、剛構造であることについて説明すること。	後日回答			
4	2022/1/31	NS2-添2-003-14	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-3)	VI-2-3-3-2-3 制御棒駆動機構ハウジング支持金具の耐震性についての計算書	P.13	曲げ以外の評価が必要ないか、応力評価の考え方を整理して説明すること。	後日回答			
5	2022/1/31	NS2-添2-003-16	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-5)	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.20	Unの評価が不要であることを整理して説明すること。	今回回答	運転状態Ⅰ及びⅡにおける疲労解析は不要であることを示す注記を追加しました。	NS2-添2-003-16改01「VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書」P.22	
6	2022/1/31	NS2-補-027-10-43	補足説明資料	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と比倍評価について	P.38	圧力容器スタビライザの二次応力評価における比倍評価の扱いを整理して説明すること。	2022/4/18	圧力容器スタビライザでは二次応力は評価対象でないため、荷重比による評価は一次応力のみを対象としています。	-	
7	2022/1/31	NS2-添2-003-16	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-5)	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.14	図4-1について、解析モデルのモデル化の考え方を整理して説明すること。	今回回答	解析モデルの考え方について、補足説明資料として整理しました。	NS2-補-027-10-70「差圧検出・ほう酸水注入系配管(原子炉圧力容器内部及びティーよりN11ノズルまでの外管)の解析モデル」	
8	2022/1/31	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.9	許容応力評価条件の温度の違いについて考え方を説明すること。	2022/4/18	一次応力に対しては保守的な評価となるよう最高温度を適用し、一次+二次応力及び繰返し荷重に対しては運転状態を代表する温度を適用することを記載しました。	NS2-添2-003-10改01「VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針」P.9	
9	2022/2/14	NS2-補-027-10-43	補足説明資料	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と比倍評価について	P.2	3.(1)a.「条件に応じて補正を行う」の内容を説明すること。	2022/4/18	「補正を行う」の内容を明確にするため、「評価用荷重の比率を乗じて発生応力を求める」として記載を修正しました。	NS2-補-027-10-43改01「原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について」P.2	
10	2022/2/14	NS2-補-027-10-43	補足説明資料	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と比倍評価について	P.6	許容応力状態について、運転状態Ⅴの記載がない理由を説明すること。	2022/4/18	運転状態Ⅴは運転状態Ⅲ又は運転状態Ⅳによる条件に包絡されているため、評価を実施しないことを記載しました。	NS2-補-027-10-43改01「原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について」P.1	
11	2022/2/14	NS2-添2-003-10	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	全体	SRSS法ではなく、組合せ係数法を適用している場合があれば、その考え方を説明すること。	今回回答	【NS2-他-130「島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について)」のNo.17にて回答】	-	コメント移動

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
12	2022/4/18	NS2-添2-003-15	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-4)	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.3	計測配管のクラスについて確認の上、耐震評価の必要性を説明すること。	今回回答	ジェットポンプ計測ノズルに接続する配管はSクラスとして耐震評価を行っていますが、主配管には該当しないことから耐震性についての計算書の作成対象とはしていません。	—	
13	2022/4/18	NS2-添2-003-15	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-4)	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.10	図3-11について、実機との対応が分かるように説明すること。また、荷重のかけ方が分かるように説明すること。	今回回答	実機におけるモデル化の範囲を図示しました。また、解析モデルへの荷重作用位置について記載を追加しました。	NS2-添2-003-15改01「VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書」P.6,11,12	
14	2022/4/18	NS2-添2-003-15、NS2-添2-003-11	耐震(計算書)(VI-2-3-3-2-4)(VI-2-3-3-1-2)	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書、VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.13	簡易弾塑性解析が必要な評価部位について、補足説明資料にてKe等をまとめて説明すること。	今回回答	原子炉圧力容器及び付属構造物において、耐震性についての計算書に記載した代表評価点以外での簡易弾塑性解析について、計算過程及び計算結果を補足説明資料として整理しました。	NS2-補-027-10-71「原子炉圧力容器及び圧力容器付属構造物の簡易弾塑性解析結果について」	
15	2022/4/18	NS2-添2-003-10改01	耐震(計算書)(VI-2-3-3-1-1)	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.29	N9の外荷重について、荷重をどのように束ねているか、どの位置に作用させているか分かるように説明すること。	今回回答	N9ノズルに作用する荷重は、ノズルに接続する全ての配管の地震応答解析結果の反力の合計値を考慮しています。「原子炉圧力容器の応力解析の方針」にN9ノズルに作用させる荷重を記載し、「ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書」に解析モデルに荷重を作用させる位置について記載しました。	NS2-添2-003-10改02「VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針」P.30 NS2-添2-003-15改01「VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書」P.6,12	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:原子炉圧力容器他)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～47までは、NS2-他-108で整理済みのため省略						
48	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.目-1～3	項目の追加・変更に伴い、目次を適正化しました。	2022/6/21	
49	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.1	適用している規定がクラス1容器の規定であることを明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計・建設規格 PVB-3110の規定を適用し、 (新)クラス1容器の規定である設計・建設規格 PVB-3110を適用し、	2022/6/21	
50	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.3,6	制御棒駆動機構ハウジングにUボルトで支持されていることを明確にするため、概略構造図等を適正化しました。また、対象設備の概略寸法を示すため、寸法を記入しました。	2022/6/21	
51	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.4	フロー中の「機械的荷重」に地震荷重が含まれないことを明確にするため、「機械的荷重(地震荷重以外)」に適正化しました。	2022/6/21	
52	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.8	「応力解析の方針」の構成の見直しに伴い、「3.3 外荷重条件」の項目を追加しました。これに伴い、項目番号を適正化しました。	2022/6/21	
53	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.8	「応力解析の方針」の構成の見直しに伴い、参照する項目番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.3節 (新)4.4節	2022/6/21	
54	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.8	耐震評価方法を明確にするため、水平方向及び鉛直方向の動的地震力の組合せ方法についての記載を追加しました。	2022/6/21	
55	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.9	設計震度として考慮する位置を明確にするため、「据付場所及び床面高さ」を記載しました。これに伴い、表の記載を適正化しました。	2022/6/21	
56	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.9	他の耐震計算書と記載を統一するため、設計震度についての注記を適正化しました。(下線部参照) (旧)注記*1:設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方。 若しくはこれを上回る設計震度 *2:設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)注記*1:設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度 *2:設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/21	
57	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.13,21,22	疲労累積係数の計算内容を示すため表7-1およびこれに関する記載を追加しました。また、表の追加に伴い、表番号を適正化しました。	2022/6/21	
58	NS2-添2-003-16改01	VI-2-3-3-2-5 差圧検出・ほう酸水注入系配管(ティーよりN11ノズルまでの外管)の耐震性についての計算書	P.15	解析モデルにおける実機との対応を明確にするため、図中に支持位置等の説明を追記しました。	2022/6/21	
59	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.目-1	項目の追加及び名称変更に伴い、目次を適正化しました。	2022/6/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
60	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.1	概要においてSA時の荷重はDB時の荷重に包絡されることを示すため、「1. 概要」の記載を適正化しました。	2022/6/21	
61	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.3	対象設備の概略寸法を示すため、概略構造図に寸法を記入しました。 また、概略構造図に示すノズルの名称が分かるように、「主体構造」の記載を適正化しました。	2022/6/21	
62	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.4	フロー中の「機械的荷重」に地震荷重が含まれないことを明確にするため、「機械的荷重(地震荷重以外)」に適正化しました。	2022/6/21	
63	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.5	他の耐震計算書と記載を統一するため、記号の説明を適正化しました。	2022/6/21	
64	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.10	外荷重についての記載をその他の記載と分けて説明するため、「4.3 外荷重条件」を追加し、外荷重についての記載を「4.2 運転条件」から分離しました。	2022/6/21	
65	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.11	項目の追加に伴い、項目番号を適正化しました。	2022/6/21	
66	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.11,12	4.は荷重条件についての説明であるため、「荷重の組合せ及び応力評価」の項目名を「荷重の組合せ」に適正化し、応力評価に関する記載を「5.3 応力の評価」に移動しました。	2022/6/21	
67	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.13	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5.2節 (新)5.4節	2022/6/21	
68	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.13	表3-3の注記と同等の記載を行うため、「5.4.1 疲労解析不要の検討」の記載を適正化しました。	2022/6/21	
69	NS2-添2-003-10改02	VI-2-3-3-1-1 原子炉圧力容器の応力解析の方針	P.13	項目の追加に伴い、項目番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)4.2節 (新)4.3節	2022/6/21	
70	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.3~41	「外荷重条件」の項目を追加し、項目名及び項目番号の適正化に伴い、目次を適正化しました。	2022/6/21	
71	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.48,59,73,87,98, 111,127,140,157, 172,187,199,211, 224,243,256,269, 281,293,308	表の記載内容との整合のため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)疲労累積係数が厳しくなる評価点を記載する。 (新)応力分類ごとに厳しくなる評価点を記載する。	2022/6/21	
72	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.51,62,76,90,101, 114,130,143,160, 175,190,202,214, 228,246,259,272, 284,296,311,327	「応力解析の方針」の構成見直しに伴い、項目の追加、項目名及び項目番号を適正化しました。 また、「荷重の組合せ」での参照先の項目番号を「4.3節」から「4.4節」に修正しました。	2022/6/21	
73	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.51,62,76,90,101, 114,130,143,160, 175,190,202,214, 228,246,259,272, 284,296,311	評価条件を明確にするため、適用する圧力について追記しました。	2022/6/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
74	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.52,63,77,91,102,115,131,144,161,176,191,203,215,229,247,260,273,285,297,312	応力計算方法を明確にするため、「(2) 計算方法」を追記しました。	2022/6/21	
75	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.52,63,77,91,102,115,131,144,161,176,191,203,215,229,247,260,273,285,297,312,328	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5.1.2項 (新)5.3.2項	2022/6/21	
76	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.62,76,90,101,114,130,143,160,175,190,202,214,228,246,259,272,284,296,311	応力集中係数の計算方法を明確にするため、記載を追記しました。	2022/6/21	
77	NS2-添2-003-11改01	VI-2-3-3-1-2 原子炉圧力容器の耐震性についての計算書	P.95	表5-4において、P02及びP02'における $S_n^{#1}$ の評価結果について、簡易弾塑性解析を行うことを示す「*」の記載が漏れていたため、適正化しました。	2022/6/21	
78	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.目-1,2	「外荷重条件」の項目を追加し、目次を適正化しました。	2022/6/21	
79	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.3	貫通部シールの構造の詳細を示すため、構造図を適正化しました。	2022/6/21	
80	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.5	「応力解析の方針」の構成見直しに伴い、項目の追加及び項目番号を適正化しました。また、「荷重の組合せ」での参照先の項目番号を「4.3節」から「4.4節」に修正しました。	2022/6/21	
81	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.6	評価条件を明確にするため、適用する応力集中係数についての記載を追加しました。また、適用する圧力について記載しました。	2022/6/21	
82	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.7	「応力解析の方針」の構成見直しに伴い、参照する項目番号を見直しました。	2022/6/21	
83	NS2-添2-003-15改01	VI-2-3-3-2-4 ジェットポンプ計測配管貫通部シールの耐震性についての計算書	P.12	解析条件を明確にするため、要素数及び節点数の記載を追記しました。	2022/6/21	
84	NS2-補-027-10-8改01	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書における斜角ノズルの評価方針についての補足説明資料	P.2	図の示す内容を明確にするため、図を適正化しました。	2022/6/21	
85	NS2-補-027-10-8改01	原子炉圧力容器の耐震性についての計算書における斜角ノズルの評価方針についての補足説明資料	P.3	記載方法の統一のため、引用文献についての記載を適正化しました。	2022/6/21	
86	NS2-補-027-10-18改02	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.1.2	表現の適正化のため、表2-1の注記の記載を見直しました。(下線部参照) (旧)原子炉圧力容器内部構造物がJEAGに基づき耐震Aクラスに分類されたことに対して (新)原子炉圧力容器内部構造物はJEAGに基づき耐震Aクラスに分類されていたことに対して	2022/6/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
87	NS2-補-027-10-18改02	原子炉圧力容器、炉心支持構造物及び原子炉圧力容器内部構造物の重大事故時等における耐震評価について	P.10	原子炉圧力容器内部構造物の重大事故等時の耐震評価について簡潔に示すため、考え方については他の補足説明資料を参照することとして表現を適正化しました。(下線部参照) (旧)NS2-補-023-06「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」において「全般施設」に分類されることから、重大事故等時の使用圧力及び使用温度が、設計基準対象施設の評価として実施する許容応力状態IVASの評価圧力及び評価温度に包絡されないため、重大事故等時における評価として、許容応力状態VASの評価を実施する。 (新)NS2-補-023-06「重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて」に従い、「全般施設」の重大事故等時の耐震評価として許容応力状態VASの評価を実施する。	2022/6/21	
88	NS2-補-027-10-36改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.1	表1-1の記載内容との整合のため、図書名称の記載を見直しました。また、2.2と3.の表現を統一するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)今回工認では、以下の様に耐震評価部分と強度評価部分とを分けて添付書類を作成している。図書構成の概要を表1に示す。 原子炉圧力容器関連において、別表第二の機器名称の分類に合わせ、耐震評価部分は「〇〇の耐震性についての計算書」に、強度評価部分は「〇〇の強度計算書」に振り分けており、既工認、今回工認の図書構成の対比表を別紙1に示す。 (新)今回工認では、耐震評価部分は「〇〇の耐震性についての計算書」に、強度評価部分は「〇〇の強度計算書」又は「〇〇の応力計算書」に振り分けている。 既工認、今回工認の図書構成の概要を表1に、対比表を別紙1に示す。	2022/6/21	
89	NS2-補-027-10-36改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.1	2.2と3.の表現を統一するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)今回工認においては、耐震評価部分を「〇〇の耐震性についての計算書」、強度評価部分のうち原子炉格納容器及びベント系設備については「〇〇の強度計算書」、原子炉格納容器安全設備の主配管については「〇〇の応力計算書」として、機器ごとの異なる図書番号で整理している。 (新)今回工認では、耐震評価部分は「〇〇の耐震性についての計算書」に、強度評価部分は「〇〇の強度計算書」に振り分けている。	2022/6/21	
90	NS2-補-027-10-36改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連の耐震計算書及び強度計算書の図書構成について	P.2	原子炉中性子計装案内管の耐震評価を実施していることを示すため、表1-2の備考の記載を追記しました。	2022/6/21	
91	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	目次	記載適正化に伴うページ番号の変更を反映しました。	2022/6/21	
92	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3.5.21	記載内容の明確化のため、項目名を適正化しました。(下線部参照) (旧)(1) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力がある場合 (2) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力がない場合 (新)(1) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力の算出結果がある場合 (2) FEM等により求めた単位荷重当たりの発生応力の算出結果がない場合	2022/6/21	
93	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.3.4	記載内容を明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) また、注記の記載内容を適正化しました。 (旧)評価用荷重を設定し、ノズルのサーマルスリーブにおいては4.1(1)の手法により応力・・・ (新)評価用荷重を設定する。設定した評価用荷重を用いて、ノズルのサーマルスリーブにおいては4.1(1)の手法により荷重比を用いて応力・・・	2022/6/21	
94	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器関連における工事計画認可で実施する評価手法の概要と荷重比等による評価について	P.21	フロー中の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)4.2(1) (新)4.1(1)	2022/6/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
95	NS2-補-027-10-43改02	原子炉圧力容器関連及び原子炉格納容器 関連における工事計画認可で実施する評価 手法の概要と荷重比等による評価について	P.66	一般的な表現への見直すため、図中の「比倍比」を「荷重比」に適正化しました。	2022/6/21	